

和歌山市景観ワークショップの意見のまとめ

■ ワークショップの開催趣旨とねらい

〈開催趣旨〉

- ・ 和歌山市の良好な景観を守り、景観を活かした和歌山市らしいまちづくりを推進していくために、ワークショップを通して、市民の方に和歌山市の景観について話し合ってもらい和歌山の景観を見つめ直し、その良さを再認識してもらう。

〈ねらい〉

- ① 意識啓発
 - ・ 景観への意識を高め、身近な景観の良さに気づききっかけづくりを行う。
- ② 人材発掘
 - ・ 今後の景観まちづくりに参画してくれる人材の発掘を行う。
- ③ アクションプランに向けた助走（人材育成への発展）
 - ・ 市民目線で、市の景観の良さや改善すべき点、それに向けた取り組み等を提案してもらい、検討委員会の議論に反映させるとともに、市民向けへの発信手段とする。

■ 各回の概要

<p>第1回の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お気に入りの景観とその理由について話し合う ・ 話し合いを踏まえて、次回以降の検討テーマを設定 	お気に入りの景観について意見交換		
	1 班	2 班	3 班
	<p>○「好きな景観」として、和歌山城、湾・島の景観といった市のシンボルとなる景観を中心に話し合った。</p> <p>〈和歌山城・けやき大通り〉</p> <p>→通りから見た眺めは評価するが沿道の建物が貧弱で回遊性に乏しく、ぶらくり丁の活力の減退が懸念される。</p> <p>〈湾・島の景観について〉</p> <p>→番所庭園や雑賀崎などの地形美を堪能できる眺望点のほか、マリーナシティの夜景を楽しめる眺望点など、多様なスポットがある。</p> <p>○一方で、これらの景観をどう活かしていくのか、についても意見が交わされた。</p> <p>→沿道の街路樹などの緑や水を大切にすべきだが、維持・管理という側面から難しいという声もある。行政・市民の意識の変化が必要。など</p>	<p>○「好きな景観」として、和歌山城や和歌浦周辺を筆頭に、紀の川や加太などが挙げられた。</p> <p>〈和歌山城・けやき大通り〉</p> <p>→和歌山市のシンボル（象徴）的な景観であるが、十分に活かされていない、損なう要素が周囲に見受けられる。</p> <p>〈和歌山浦周辺〉</p> <p>→山や海に囲まれた独特な自然的な景観が美しい。</p> <p>時間が止まったような空間である。</p> <p>○その他に下記のような意見も出た。</p> <p>→和歌山の海岸部は、様々な表情がある。（風光明媚な和歌浦、独特な漁村景観の雑賀崎、工場部の風景など）熊野古道や大和街道など歴史的な街道沿いの集落や歴史的資源などをつないでいく試みが必要。</p>	<p>○「好きな景観」として、和歌山城やぶらくり丁界隈をはじめとする古い建物の残る市街地周辺の景観、和歌浦の風光明媚な景観、高速道路からみる市街地の景観などが挙げられた。</p> <p>○また、歴史を感じさせる景観、ふじと台や紀ノ川大橋等の人工的な景観に関心が集まっていた。</p> <p>○視点場としては、高速道路からの夜景、電車でトンネルを抜けるときの開放感のある眺めにも意見が出された。</p> <p>○景観形成に向けた取り組みについても意見が交わされた。</p> <p>→建物の壁の色を揃えるだけで、景観は良くなる。景観を意識し合意に向けて話し合える場が必要。</p>
次回以降の検討テーマの設定			
<p>○テーマ1（1班）：遠景・視点場（ビューポイント）</p> <p>山や海の大景観、視点場からの眺望景観などについて検討を行うグループ。</p>	<p>○テーマ2（2班）：みどり・花の景観</p> <p>沿道緑化や花植えなど個人でできる取り組み等を含めて検討を行うグループ。</p>	<p>○テーマ3（3班）：建物の景観</p> <p>家なみや街なみのあり方などについて検討を行うグループ。</p>	

第2回の内容

- ・設定したテーマごとの写真を持ち寄り意見交換
- ・キーワードとなる事柄を整理

テーマごとの景観について意見交換		
1班：遠景・視点場（ビューポイント）	2班：みどり・花の景観	3班：建物の景観
<p>○「眺望、視点場」というテーマで話しあったところ、全体の関心として「和歌浦」に意見が集中したため、「和歌浦」を中心に議論を進めた。</p> <p>○和歌浦の魅力として挙げられた主な意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万葉集にゆかりのあるスポットが集積 ・単なる観光地ではなく風習を感じることができる ・「山（高津子山、名草山、妹背山、鏡山、奠供山など）」がたくさんあり、それぞれが魅力ある視点場 <p>○和歌浦の魅力を守り、継承するために次のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある和歌浦の良さを広く知ってもらうため、「スポットをつなぐ」「人をつなぐ」「知識（歴史）をつなぐ」という「つなぐ」をキーワードにした取り組みが必要 ・単なる観光にとどまらない、歴史や風習といったものを感じてもらおう情報発信や観光の仕組みづくりも大切 	<p>○「みどり・花の景観」について話しあったところ、8つのテーマに集約。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個人の家の花・緑がつくる景観、 ②歴史とセットで形づくられている ③シンボルとなる緑 ④人の暮らしに息づく緑 ⑤借景の緑 ⑥街路樹の緑 ⑦和歌山らしい地域性を表す緑 ⑧広がりのある緑 <p>○8つのテーマに即し、具体的にどのようにしていくかについて、以下のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑と人との関わり方をどうするか ・大切な緑を規制して守る方法が必要では ・住民が自ら守る緑の活動をどう盛り上げていくか 	<p>○「建物の景観」について話しあったところ、次のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンガづくりの建物は好ましいが、取り壊されたり張り替えられたりして、数が減ってきている ・あまり知られてはいないが有名建築家の手による建物が市内に点在しており、整理して資源として発掘してはどうか ・自転車で景観を楽しむ仕掛けができれば良い ・「あやしさ」のあるまち和歌山市 <p>○和歌山市のまちなみは、整備されすぎておらず、様々な建物や用途が混在している。その多様さや意外さが魅力的。この魅力を「あやしさ」と捉えてみてはどうか。</p>



第3回の内容

- ・アクション（取り組み）に関する意見交換
- ・市民の方々に伝えたいメッセージの検討
- ・提案のとりまとめ

⇒和歌山市の景観について“いいものを見つけ、お互いに価値を共有し、情報発信していこう”というメッセージが全体の共有事項として挙げられた

提案の視点		
1班：遠景・視点場（ビューポイント）	2班：みどり・花の景観	3班：建物の景観
<p>○「潜在的な認識に留まっている和歌浦のすばらしさを共有し、それを守り、PRしていくためにはどうすべきか」という点を考慮しとりまとめた。</p>	<p>○「みどり・花の景観は自分たちの暮らしがつくっている」「みどり・花とまちなみ景観を一体的に考える必要がある」といった認識を共有しとりまとめた。</p>	<p>○第2回で出た「和歌山市のまちなみの用途の多様さや意外さ」という魅力を「あやしさ」と捉え、その「あやしさ」を発掘することを「不思議発見」と呼びとりまとめた。</p>



提案の概要		
1班：遠景・視点場（ビューポイント）	2班：みどり・花の景観	3班：建物の景観
<p>知って残そう 和歌山市の景観 美しい街は市民の財産</p> <p>○各団体の活動をネットワークさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に活動している団体が多くあり、それらをつなぐ工夫。 ・これら団体は「歴史・文化を伝える」「自然の保全」「地域の活性化」といったカテゴリーで活動。 ・これら活動を通して3つのアウトプットにつなげていく。 <ol style="list-style-type: none"> ①「自分の地域を知る」 ②「自分ができることを考える/はじめる」 ③「人を集める」 	<p>緑で景観を育てよう</p> <p>○花・緑をまちなみ景観づくりに活かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花や緑に親しむ文化を育む ・花・緑を育てる支援をする 等 <p>○今ある緑を守ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のシンボリックな樹木を登録する制度をつくり、公で手入れできるようにする 等 <p>○和歌山の「シンボル」となる花・緑を守り創っていこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山市の花・緑百景を選ぶ 等 	<p>和歌山 不思議発見・再発見</p> <p>○「アヤシイ」景観という新たなまちなみ景観の魅力を発見し、PRするためのアクションを検討した。</p> <p>○提案の視点としては、市外からの来訪者が楽しめる、アヤシイ景観への理解を深める、新たなファンをつくる など。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「アヤシイ」まちの歩き方（MAP作成など） ②アヤシイ場所の歴史を紐解く ③ネット等でB級スポット募集 ③日常的に「ツイッター」等で発信しあう 